

# ボランティア募集情報

感染状況も落ち着き、少しずつではありますがボランティアの依頼が増えてきました♪ お問い合わせ、お待ちしております！

施設名：特別養護老人ホーム あさひ荘  
 日時：応相談  
 内容：入居者の繕い物  
 場所：施設内（大町）  
 問合せ：地域福祉・ボランティアセンター  
 ～縫い物が好きな方、気軽にいかがですか？～



施設名：たんぽぽ作業所  
 日時：応相談  
 内容：作業補助  
 場所：作業所内（八幡）  
 問合せ：地域福祉・ボランティアセンター  
 ～障がいのある方と一緒に活動してみませんか？～

団体名：ギャマノン  
 日時：毎月1回、不定期 17:30~21:00  
 内容：保育補助  
 場所：全日警ホール（八幡）  
 問合せ：地域福祉・ボランティアセンター  
 ～定例会中の託児ボランティアです～

施設名：社会福祉法人いちばん星 もこ  
 日時：毎週水曜 10:30~12:00  
 内容：作業補助（チラシ折り込み）  
 場所：事業所内（中山）  
 問合せ：地域福祉・ボランティアセンター  
 ～障がいのある方と一緒に、空いた時間いかがですか？～

施設名：コミュニティケア24  
 癒しのデイサービスあいのかわ  
 日時：平日 13:00~14:00（応相談）  
 内容：麻雀、花札、将棋、囲碁の相手  
 場所：施設内（相之川）  
 問合せ：行徳ボランティアセンター  
 ～腕前以上に「楽しい」を大切に出来る方、ぜひ～

施設名：地域活動支援センターステップ  
 日時：火曜～土曜 10:30~15:00（応相談）  
 内容：お話相手、外出補助など  
 場所：施設内（行徳駅前）外出先（施設近辺）  
 問合せ：行徳ボランティアセンター  
 ～障がいのある方の余暇活動支援です。  
 1駅分の往復交通費支給します。昼食はお持ち下さい～

コロナ禍の中、いかがお過ごしですか？  
1日1回は外に出て、人に逢い、話を少しだけしませんか？



お読み頂いた皆さんに、なぞなぞの問題を考えてみました。  
認知症予防にもなりますので、よ～く考えてみてくださいね！  
Q.「氷が溶けると水になる、では雪が溶けると何になる？」

※答えはこの通信の中のどこかに隠れています。良く読んで、探してみてください！

YouTube 動画で配信中！  
「ボランティアをやってみよう」  
配信期間 R4.9.30まで（予定）

※事前に市川市社会教育課  
ホームページより公民館オンライン  
講座の申請が必要となります。



お問い合わせ先 市川市社会福祉協議会 ※お気軽にお問い合わせください



【地域福祉・ボランティアセンター】

住所：〒272-0026 市川市東大和田 1-2-10

電話：047(320)4002

開所時間：月～金 8:40～17:40

※ 土日祝祭日、年末年始はお休み

【行徳ボランティアセンター】

住所：〒272-0121 市川市末広 1-1-31

電話：047(356)0007（行徳支所2階）

開所時間：月～金 9:00～17:00

※ 土日祝祭日、年末年始はお休み



いちかわ社協 地域福祉・ボランティアセンターだより

# てるぼ通信

編集・発行

社会福祉法人 市川市社会福祉協議会  
地域福祉・ボランティアセンター

所在地：市川市東大和田 1-2-10

連絡先：047(320)4002

## 地域福祉・ボランティアセンターより

雨に映える紫陽花の花も美しく、爽やかな季節となりました。

皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より、地域福祉・ボランティアセンターへのご協力を賜り誠にありがとうございます。

コロナ禍でボランティア活動の延期や中止などを余儀なくされ、2年半あまりが経過しましたが、今年度に入り「子どもたちの支援をしたい」といった主婦の方からのボランティア相談や、「お話し相手が欲しい」といった一人暮らしの高齢者の方からのボランティア依頼等が入り始めています。まだまだ感染拡大防止に注意を払い対応しなければならない現状ですが、ボランティアセンターの窓口は徐々に活気が戻りつつあります。現在、コロナ禍でも行える活動の一つとして「自宅 de ボランティア」（2面参照）を企画し、多くのボランティアさんのご協力をいただき、施設等にぞうきんを寄贈する活動も行っています。

今後も、ボランティアの推進に、職員、コーディネーター一同取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



## 新しいボランティアコーディネーターを紹介します（4名）

- ① 竹田雅代
- ② スポーツ観戦
- ③ マカロン
- ④ 健康な骨
- ⑤ 笑顔でお待ちしております



- ① 根岸清美
- ② 四人での中国文化研究
- ③ おでん ④ 若さ
- ⑤ 皆様の力をお借りして頑張ります！

- ① 先本賀奈子
- ② 料理
- ③ カレー
- ④ 新しい雨具
- ⑤ 気軽にお声がけください



- ① 石橋祥子
- ② ウォーキング、乗馬
- ③ 辛い物 ④ 知恵と体力
- ⑤ 地域の皆様と一緒により良い生活が送れるようにしたいです

① 氏名 ② 趣味 ③ 好きな食べ物 ④ 欲しいもの ⑤ 一言

# ボランティア紹介

## 自宅 de ボランティア

### ぞうきん・タオルの寄付にご協力ありがとうございます。

1月発行の「てるぼ通信」でお願いしておりました自宅 de ボランティアのぞうきん・タオルですが、5月末現在800枚以上集まり希望される施設に順次ぞうきんのお届けを始めています。

### ～ ぞうきん作ってます ～

集まった未使用タオルを使って、沢山の方々にぞうきんを作っていただいておりますが、実際に活動をされている方から、お話を聞かせていただきました。



(鷺見さん、竹市さん、染谷さん、水上さん)

#### \*何がきっかけでぞうきん作りをはじめましたか？

なにかできる事は無いかと思っていたところ、染谷さんからの声掛けで4人が集まり、「四つ葉の久老葉」というグループ名で始めました。2年前簡易防護服を作ったのが一緒にボランティアを始めたきっかけです。近所の気心の知れた仲間の集まりで、今ではその家族へと広がり上は85歳から下は小学3年生のこどもまでで作っています。

#### \*ぞうきんを作ってみてどうですか？

自分一人でも、仲間と集まっても簡単にできるのがいいと思います。集まって作る時は換気に十分気をつけて、手はチクチク、口はペチャクチャ動かしながら無理せず楽しんで作ってます。

#### \*今後はどのような活動を考えていますか？

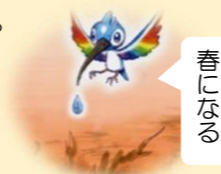
現在はアベノマスクをリメイクして、ガーゼの口拭きや台布巾を作っています。今後は一人暮らしの高齢者が集まれる居場所作りやこども食堂なども出来たらいいなと考えています。人から人へボランティアの輪が広がって行けば嬉しいです。



(小学3年生の作品)

### ～ハチドリの一ひとしく～ 【書籍 辻信一／監修】

〇メンバーのひとり水上さんが南米の民話の一節を引用され「私は私にできることをしているだけ」とおっしゃり、この言葉に象徴される通り、今後も自分たちにできるボランティア活動に参加、協力していきたいと明るく力強くお話をいただきました。



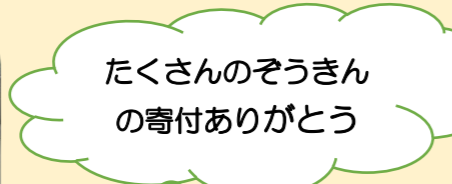
春になる

### ～ ぞうきんお届けしました ～

「寄贈は大変ありがたい」「作ってくれてありがとう」といったお言葉を頂いております。



社会福祉法人市川朝日会  
市川あさひ荘デイサービスセンター



社会福祉法人大久保学園  
梨香園（生活介護）

ボランティアの皆様には6月末までの期限でお願いしていましたが、7月からも引き続きぞうきん、タオルのご寄付をお願いします。

## 登録個人ボランティア 岡田俊子さん

## ～ ボランティアは人生そのもの ～

“ボランティアは世のため、人のため、ひいては自分のため”とおっしゃる岡田さんに熱い思いを語っていただきました。



#### \*活動を始めたきっかけは？

「社協主催のボランティア講座に参加し個人ボランティアに登録したことです。17年活動を続けていますがどの活動も楽しく特に苦勞したことは思い当たりません。」

#### \*10年以上続けてこられた「タンポポ作業所」ではコロナ禍の中、どのような活動をされていますか？

「通所者の自立支援のお手伝いをしていますが、和気あいあいと楽しくやっています。コロナ対策は基本的な消毒を行い、だれ一人感染することなく一度も閉所したことはありません。」

#### \*長く活動を続ける秘訣は何でしょうか？



「ボランティアは大変と思っではダメ。ひとつの活動で得られた繋がりが次の活動へと結びつけてくれます。家族への配慮も必要ですね。主人は出かける前に自転車を出しておいてくれたりします。」  
「**キョウイク**（教育）：今日（キョウ）も行く（イク）所がある。  
「**キョウヨウ**（教養）：今日（キョウ）も用（ヨウ）事がある。  
これで元気な毎日を送ることができます。」

〇ボランティアで友達と会い、笑って暮らすことが若さの秘訣とのお話が印象的でした。

## 登録ボランティアグループ

## NPO 行徳自然ほごくらぶ

### ～ よみがえれ新浜 ～

生き物たちの楽園を取り戻すために、行徳鳥獣保護区で40余年活動を続けている「行徳自然ほごくらぶ」にお話を伺いました。

#### \*どのような経緯で会が設立されたのでしょうか？

「行徳野鳥観察舎（現：あいねすと）利用者との親睦を深め、野鳥にとってすみよい環境を守り育てることを目的に1979年に結成されました。埋め立てられた湿地を復元するために、行政や地域の方々と協力して活動を進めています。」



#### \*当初と今の活動はどのようなものでしょうか？

「水鳥のやってくる湿地環境を作ろうとしました。“春の小川作戦”では、丸浜川に水車を設置し空気を送り込むことで水の浄化と生き物増加を目指し、それを水源に池を作ると次第に水鳥がやってくるようになりました。この活動はトヨタ財団のコンクールで最優秀賞を受賞しました。」  
「現在の主な活動は、湿地復元、野鳥保護、調査、観察会やイベント開催などです。」

#### \*活動に参加するには特別な知識や技術が必要でしょうか？

「必要ありません。毎月第4土曜日のボランティアデーには小学生から60代まで幅広い方が参加しています。だれでもできる活動ですので、「ボランティア活動は、草刈、観察会補助、野鳥病院の掃除、餌やりなどですが、1日体験してから始めていただいています。」



〇実際の活動を知っていただくためにもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。問い合わせはQRコードから ⇒

